

「労働科学」(英文・和文)投稿規程

「労働科学」誌は労働科学研究におけるわが国唯一の専門学術誌で、労働と生活と職場環境に関する総合誌を目指しています。

1. 投稿原稿は、日本語または英語による記述とし、他誌に掲載または投稿中でないものに限る。種類は次のとおりとする。

原 著：労働科学分野に題材を求めたフィールドあるいは実験等によって調査研究を行った論文で、新たな科学的な知見や独創的な学術成果を取りまとめたもの。

資 料：産業現場における働き方や労働環境の実態、労働者の生活などを調査・記録し、論文として取りまとめたもので、必ずしも新知見や高い独創性は要求されない。

総 説：取り上げた分野(テーマ)に関する国内外の研究論文を総括し、その分野(テーマ)の研究の到達点と今後の研究課題を取りまとめたもの。

論 説：産業界の健全な発展、働くすべての人の安全と健康、働きがいのある人間らしい仕事づくりを目指した労働科学分野の将来構想あるいは歴史に関して意見を取りまとめたもの。

短 報：労働科学分野の新たな知見や技術等を取りまとめた研究論文で、速報的な報告であることが望ましい。

症例報告：症例等について記載した研究論文で、速報的な報告であることが望ましい。

研究ノート：労働科学分野の題材について、研究経過あるいは萌芽的で挑戦的な発想について取りまとめたもの。

翻訳論文：外国語で発表された研究成果を紹介するもので、学術的価値が認められ、かつ翻訳権に関する疑義の生じないもの。

上記の他に文献紹介、書評、編集者への手紙、学会報告、その他がある。

2. 掲載の種類は次のとおりとする。

A. 普通掲載：原著・資料・総説・論説・研究ノート・翻訳論文は刷り上がり12ページまで(図表6~7枚を含め20,000字程度)、短報・症例報告等は3ページ(図表2~3枚を含め4,500字程度)までを原則とする。次の場合は実費本人負担となる。

- 1) アート紙など特殊紙使用の場合
- 2) カラー印刷の場合
- 3) その他、特別の経費がかかった場合(例：組み替え代、トレス代など)。

B. 特別掲載(特に早く掲載を希望するもの)：印刷費用は全額本人負担(投稿の際、その旨文書で申し出ること。ただし希望に添いかねる場合もある)。

3. 原稿は次の要領で作成する。

原稿としては、A. 表紙；B. 本文；C. 300字抄録(和文)；D. 英文抄録；E. キーワード；F. 図表の題(英文・和文併記)；G. 図表を以下の要領で作成する。

A. 表紙：表紙の書き方は、次の順序による。

投稿原稿の種類、表題、執筆者名、英文表題、ローマ字で執筆者名(執筆者表記は名一姓(大文字表記)を原則とする)。下方に所属機関とその英訳。また、別刷の必要部数を上方に朱書きする。また代表著者(Corresponding Author)名を明記し、電子メールアドレスを記載する。代表著者とは、倫理委員会の承認、論文の提出、査読、出版に関して編集委員会との連絡に責任を負う著者のことである。

B. 本文：本文下方中央に通しページをつける。

項目をたてる際には、次の順序に従って記述する

こと。

I. ……、A. ……、1. ……a. ……、1) ……

図表の挿入箇所を必ず原稿右側欄外に朱書きで指定する。

引用文献は引用順に本文中の該当箇所に上つきルビで指定する。

引用文献リストを本文の最後に列記する。著者が6名以内の場合は全員を記載し、7名以上の場合には最初の6名を記載して後は“他”“et al.”とする。文献の書き方は次のとおりとする。

《学術雑誌》著者名、表題、雑誌名、発行年(西暦)；巻(号)：頁-頁。

1) Yeung MC, Buncio AD. Leukocyte count, smoking and lung function. *The American Journal of Medicine* 1984; 76: 31-7.

2) 鈴木 一弥, 松元 俊. 柔軟な床マットが8時間の模擬立ち作業における下腿周径の変化量と下肢違和感に及ぼす効果. *労働科学*; 2006; 82(1): 22-32.

《単行本》著者名、表題、編者名、書名、発行所所在地；発行所、発行年(西暦)；引用頁-頁。(下記3)と4)は単行本の特定箇所の引用例、5)は単行本全体の引用例である)。

3) 酒井一博. 運輸労働. 三浦豊彦, 池田正之, 桜井治彦, ほか編. 現代労働衛生ハンドブック. 川崎：労働科学研究所出版部, 1994: 1423-39.

4) Taylor W, Pelmear PL, Pearson JCG. Vibration-induced white finger epidemiology. In: Taylor W, Pelmear PL, eds. *Vibration white finger in industry*. London: Academic Press, 1975: 1-133.

5) 小木和孝, 圓藤吟史, 大久保利晃, 岸 玲子, 河野啓子, 酒井一博, ほか編. 産業安全保健ハンドブック. 川崎：労働科学研究所出版部, 2013.

《Webサイトからの引用》著者：表題、アクセス年月日、アドレス。

6) ICMJE: Uniform Requirements for Manuscripts Submitted to Biomedical Journals. [updated 2010 April; cited 2013 July 8]. Available from: <http://www.icmje.org/>.

上記記載例はUniform Requirements for Manuscripts Submitted to Biomedical Journals (2010) に準じた。

雑誌名は省略しない。

C. 300字抄録(日本語)：日本語抄録は、抄録カードとして、雑誌1ページ目に掲載する。表題、執筆者名をつける。2行あけて抄録文。

D. 英文抄録：表題、執筆者名(姓のみ大文字)、抄録文。ネイティブチェックを受けることが望ましい。

E. キーワード：和文キーワード5語、それに対応する英文キーワード5語を付ける。英文キーワードの頭文字は大文字とする。

F. 図表の題：図表のある場合はタイトルの一覧(和文・英文併記)を作成する。

G. 図表：用紙1枚につき1図表で作成。右肩に通し番号をつける。タイトルは和文・英文併記とする(英文が上)。

4. 原稿作成・提出上の注意

A. 用紙：原稿は原則としてワードプロセッサを用いて作成し、A4判用紙横書きに印字したものを送付すること。図表の題の一覧と各図表は別のA4用紙を用い、図表を挿入する箇所を本文の欄外に明確に指定すること。

- B. 数字：アラビア数字を使うこと。ただし、次のような場合を除く（例：第一次調査，数十人）。
- C. 単位記号はSI単位を用いる：km, m, cm, mm, μm , nm, \AA ; kg, g, mg, μg ; l, ml, μl ; h (時), min (分), s (秒), ms, μs などJIS Z 8203参照。
- D. 略語は原則として使用しないこと。略語を使用する時は、初出時に正式名を記した後に（ ）内に記入する。薬物名は原則として一般名を使用すること。
- E. 人を対象とする観察・実験の研究報告は、原則としてヘルシンキ宣言（1964年採択，2013年改訂）及び人を対象とする医学系研究に関する倫理指針（文部科学省及び厚生労働省2014年制定）に則ったものでなくてはならない。実験動物を用いた研究報告は各施設の動物実験指針に則って行われたものでなくてはならない。当該機関の倫理委員会の承認を得ていれば、本文中にその旨を記載すること。
5. 投稿原稿は電子ファイル（MS-Word）をE-mailまたはCDやDVD等の電子媒体により下記へ送付するとともに、紙媒体の原稿1部を下記へ送付する。
6. 掲載が決定したら、ただちに最終原稿をMS-Word
- ファイルとしてE-mailまたはCDやDVD等の電子媒体により下記へ送付する。
7. 投稿原稿の採否は、「労働科学」編集委員会において審査，決定し，受け付けてから3カ月以内に著者に通知する。
8. 本誌に掲載される記事の著作権は原則として公益財団法人大原記念労働科学研究所に帰属する。
9. 著者は30部以上の別刷を購入すること。費用は全額本人負担（下記価格表参照）とし，投稿の際，必要部数（表紙つき，表紙なしを明記）を表紙上方に朱書して申し込む。
10. 著者校正は初校に限り本人校正。校正にあたり文章の付加削除は認めない。投稿にあたっては，必ずコピーを手元に残しておくこと。
11. 原稿は下記あて，送付のこと。
 <原稿送付先・連絡先>
 〒169-0073 東京都新宿区百人町3-23-1
 桜美林大学キャンパス内1F
 公益財団法人大原記念労働科学研究所
 「労働科学」編集委員会事務局
 E-mailアドレス：jsl_edit@isl.or.jp

2011年4月18日改訂
 2012年11月19日改訂
 2013年7月8日改訂

2015年7月6日改訂
 2015年9月7日改訂
 2017年7月3日改訂

2018年11月8日改訂
 2019年11月1日改訂

「労働科学」誌別刷代（送料別）

（円）

	1-4頁	5-8頁	9-12頁	13-16頁	17-20頁
30部	6,000	8,000	10,000	12,000	14,000
50部	7,000	9,000	11,000	13,000	15,000
100部	9,000	11,000	13,000	15,000	17,000
150部	11,000	13,000	15,000	17,000	19,000
200部	13,000	15,000	17,000	19,000	21,000

（ただし，表紙付の場合，上記料金に4,000円追加となります。）

「労働科学」編集委員会

顧問：小木和孝（労働科学研究所）
 委員長：佐々木司（労働科学研究所）
 委員：伊藤昭好（産業医科大学），北島洋樹（労働科学研究所），齊藤 進（労働科学研究所）
 酒井一博（労働科学研究所），高橋 誠（大阪教育大学），
 毛利一平（ひらの亀戸ひまわり診療所），吉川悦子（日本赤十字看護大），
 余村朋樹（労働科学研究所）
 編集協力者：臼井伸之介（大阪大），太田久吉（北里大），下光輝一（東京医科大），
 名古屋俊士（早稲田大），芳賀 繁（立教大），東 敏昭（産業医科大），
 鷺谷 徹（中央大）

労働科学

定価 1,454円+税

（年6回偶数月の10日発行）巻ぎめ 9,000円（税込）

Journal of Science of Labour, published bimonthly by the Ohara Memorial Institute for Science of Labour. Editorial office, J.F.Oberlin University 1F, 3-23-1, Hyakunin-cho, Shinjuku-ku, Tokyo 169-0073, Japan.

The subscription price is ¥12,000 (Japanese with English summary, by bimonthly), elsewhere. Copyright © 2014, by the Institute for Science of Labour.

発行所（公財）大原記念労働科学研究所
 東京都新宿区百人町3-23-1

桜美林大学キャンパス内1F
 （〒169-0073）

（電話）03-6447-1331（ダイヤルイン）

（FAX）03-6447-1436